

観光 文化 医療

都道府県をまたぐ移動の自粛要請が全面的に解除される19日、石川県内の観光文化施設も、新型コロナウイルスへの対策を講じた上で、プレオープンや再開の日を迎える。県内の一部の病院では同日以降、面会禁止の措置が順次解除される。【一面に本記】

再開の日 対策講じ

金沢中央
案内所
21世紀
美術館
千人に制限 無料ゾーンから

金大病院
3月以来患者と面会可能に



体温を測る器具の運用を確認する職員 —金沢21世紀美術館

県内施設

性を生み出す。704平方メートルの館内には伝統文化の体験・展示コーナーもあるが、感染防止のため、当面は展示のみ。四つの窓口も二つに減らし、アクリル板を設けた。

り、来場者の表面体温を測定できる「サーモグラフィ」の使い方を確認したりした。

◆ 谷本知事
来訪増に期待

◆ 谷本知事

金沢21世紀美術館は来館者を常時1千人までに制限した上で、無料ゾーンの一部を再開する。全館再開は27日。コロナ対策として、5カ所ある出入り口を、本多通り口と市役所口、地下駐車場の3カ所とした。18日には、職員がマスク着用を促す看板を設置した。

◆ 金大附属医院は、3月3日から続けていた入院患者との面会禁止を解除する。面会でできるのは、12歳以下の子どもを除く患者家族となる。面会時間は20分を目安とする。院内での医学生の実習は22日に再開する。

七尾市の公立能登総合病院は19日にも、入院患者と家族の荷物の受け渡しができるようになる。金沢医科大学は22日をめぐり、県大病院は22日をめぐり、県

谷本正憲知事は「ビジネス面では大きな前進だ。全国から多くの人にお越しただく環境が徐々に整う」と期待を示した。8月1日には県境をまたぐ観光も全面解禁となり、「旅館などでは感染防止対策を徹底し、石川は安心安全だと評価をいただけるよう準備してほしい」と述べた。県庁で記者団に答えた。

小松—羽田4往復に

全日空が来月から2往復

全日本空輸は7月1日から、1日1往復に減便している小松—羽田便を2往復にする。県境を越える移動が19日に全面解除されることから、需要が増えること判断した。羽田便は1日2往復で運航している日本航空を合わせると、7月以降は1日4往復となる。

全日空は、羽田便を通常4往復運航している。7月31日までは1日2往復を続け、8月以降は予約状況を見て決める。能登—羽田便は7月以降も1日1往復を継続する。

日航は那覇便再開
日航は、運休していた小松—那覇便の1往復を7月22日から再開する。羽田—那覇便などの利用が回復していることから決めた。

富山—羽田も2往復

全日空は7月1日から、富山—羽田便も毎日2往復で運航する。現在と比べて1往復増える。通常4往復のところ、5月15日から全面運休し、今月16日に午前の1往復のみ運航を再開した。

金沢市南町の尾山神社向かいにプレオープンする金沢中央観光案内所は、多言語による窓口案内や宿泊施設の予約、手荷物預かり、宅配便の受け付けなどを行う。加賀五彩や町家の格子戸をイメージしたデザインで、県と金沢市が整備。金城鼠多門・橋が供用開始する7月18日に本格オープンし、金沢城周辺に回遊